

報道関係各位

銚子信用金庫

## 平成 19 年度決算概要と新 3 カ年計画概要の公表について

銚子信用金庫（銚子市双葉町 5 番地の 5 理事長 岩瀬喜克）の平成 19 年度決算（平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月）主要計数および平成 20 年度よりの新 3 カ年計画である「第八次 3 カ年計画～共生と発展～」の概要を公表いたします。

## 1. 平成 19 年度決算主要計数について

預金積金は、定期預金の個人向け国債へのシフト、定期積金残高の減少等により前年度比 1,819 百万円となりましたが、平成 17 年に実施した店舗統廃合の影響は、ほぼ収束傾向にあります。

貸出金残高は、融資に軸足を置いた営業推進に注力してきたことにより、前年度比 2,666 百万円の増加となりました。

また、18 年度後半の 2 度にわたる預金利率の上昇により 19 年度の業務費用は増加したものの、業務純益 3,957 百万円、経常利益 749 百万円、当期純利益 1,403 百万円と主要な収益項目は前年度を上回る良好な実績となりました。

この結果、経営体力を示す自己資本比率は 8.75% となり、前年度（7.47%）を大きく上回るものとなっております。

## 2. 新 3 カ年計画「第八次 3 カ年計画～共生と発展～」について

銚子信用金庫では、新中期経営計画となる「第八次 3 カ年計画～共生と発展～」を平成 20 年 4 月よりスタートいたしました。

本計画は、「顧客・地域」、「組織・職員」、「経営体」と三つの分野について、それぞれ 3 点の基本方針を示し、さらにこれらを具現化すべく本部各部が検討立案した「課題と施策」により構成されています。

また、計画全体を貫くキーワードを「共生と発展」といたしました。

お客さま、地域社会、金庫職員と当金庫が共に支えあい、手を携えて発展していくことこそが本計画の目的であり、その達成のための手段でもあるからです。

当金庫の活動の源泉は、お客さま・地域からもたらされるものであり、そのお客さま・地域の発展こそが金庫・職員の発展であるという、信用金庫にとってあたりまえのことに、いま一度立ち返り、「銚子信用金庫ならでは」といえる活動を追及してまいります。

なお、本計画の最終年度である平成 22 年に、当金庫は創立 100 周年を迎えることとなります。

## 記

### 1. 平成 19 年度決算主要計数

#### (1) 預金・貸出金の状況

単位：百万円

	平成 19 年 3 月末	平成 20 年 3 月末	増減
預 金	420,509	418,690	1,819
貸 出 金	197,782	200,448	2,666

#### (2) 損益の状況

単位：百万円

	平成 19 年 3 月末	平成 20 年 3 月末	増減
業 務 純 益	3,942	3,957	15
経 常 利 益	419	749	1,168
当期純利益	865	1,403	538

#### (3) 自己資本比率

	平成 19 年 3 月末	平成 20 年 3 月末	増減
自己資本比率	7.47%	8.75%	1.28%

### 2. 新 3 力年計画「第八次 3 力年計画～共生と発展～」の概要

#### (1) 基本方針

##### I. 顧客・地域

1. お客さまに喜ばれ信頼される営業活動の展開
2. お客さまに優しい店舗環境の整備
3. 地域活性化に向けた継続性のある活動の展開

##### II. 組織・職員

1. 職員が気持ち良く働くための就労環境の整備
2. 活力のあるコミュニケーション環境の整備
3. 高い業務スキルを持った職員の育成

##### III. 経営体

1. 資産健全化の一層の促進
2. 安定的な収益基盤の確立
3. リスク管理態勢の強化・高度化

(2) 最終年度（平成 22 年度）の主要計数計画

本 3 カ年計画を通じて、計画最終年度の平成 22 年度に以下の主要計数目標の達成を目指してまいります。

預金	4,273 億円
貸出金	2,100 億円
業務純益	31 億円
経常利益	21 億円
当期純利益	23 億円
自己資本比率	9.93%

以 上

本プレスリリースおよび資料についてのお問い合わせは下記の担当までお願いいたします。

銚子信用金庫 総合企画部（担当：松岡）

〒288-8686 千葉県銚子市双葉町 5 番地の 5

tel 0479-25-2115 fax0479-22-9909 e-mail e\_kikaku@choshi-shinkin.co.jp

**ちよしんさん**

<http://www.choshi-shinkin.co.jp>